

藻場保全活動範囲の藻場の経緯  
【参考資料】

調査報告書・文献等による整理

# 1 概要

## ◇日本海側の藻場消滅（2013年）

### 【2014.1.7 8月下旬以降に発生した異変】

（山口県水産研究センター作成資料）

- 2013年9月末までに全ての付着器だけを残して流出
- 日本海沿岸域は、見島以外の全ての藻場は壊滅的な状況
- 仙崎湾に位置する青海島をはじめ、浜に大量の寄り藻発生
- 聞き取り情報においても「かなり深刻」



2013年9月末までに保全活動範囲の藻場は流出



### 下記事項を対策

- ・2014年から、県で種苗（単年生藻類）を大量生産し、漁業者に配布
- ・藻場保全活動団体を活用して、多年生藻類の母藻投入や稚苗投入
- ・2018年から2019年にかけて、仙崎地区や小島地先を含む8地先に核藻場を造成

## 2 【2014.1.7 8月下旬以降に発生した異変】

(山口県水産研究センター作成資料)

### 1 8月下旬以降に発生した異変



茎部の基部で曲がって倒れたり  
葉体が脱落している  
萩市須佐地先9月10日撮影

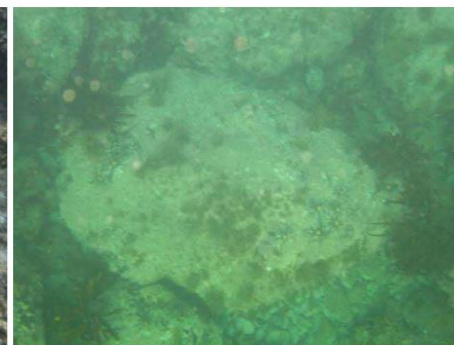
\* 9月末までに全て付着器を残し  
流失した。



付着器のみ残るアラメ・クロメ  
下関市阿川地先9月11日撮影



付着器のみ残るアラメ・クロメ  
萩市大井湊地先9月12日撮影



付着器と脱落したアラメ・クロメ  
萩市見島地先10月6日撮影

\* 9月末までに江崎～三見の沿岸を調査した結果、  
ほとんどのアラメ場は上記のような状況でした。

## 2 【2014.1.7 8月下旬以降に発生した異変】

(山口県水産研究センター作成資料)



付着器のみのものもあるが、ほぼ正常な  
アラメ・クロメも生残している  
萩市見島地先10月6日撮影



葉体の先端部分が白いものもあるが  
ほぼ正常なアラメ・クロメの群落  
萩市見島地先10月6日撮影

\* 見島で調査した結果、上記のように生残している箇所も  
見られました。



浜に大量の寄り藻  
長門市青海島地先9月10日撮影

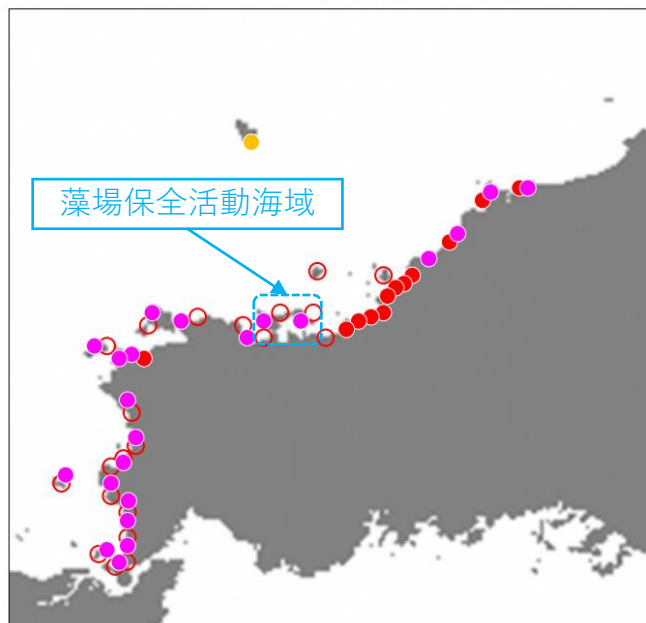


浜に大量の寄り藻  
下関市角島地先9月11日撮影

## 2 【2014.1.7 8月下旬以降に発生した異変】

(山口県水産研究センター作成資料)

### 異変発生状況



#### 調査に基づく結果

- ほぼ全数が枯死
- 半数以上が枯死
- 特に異常なし

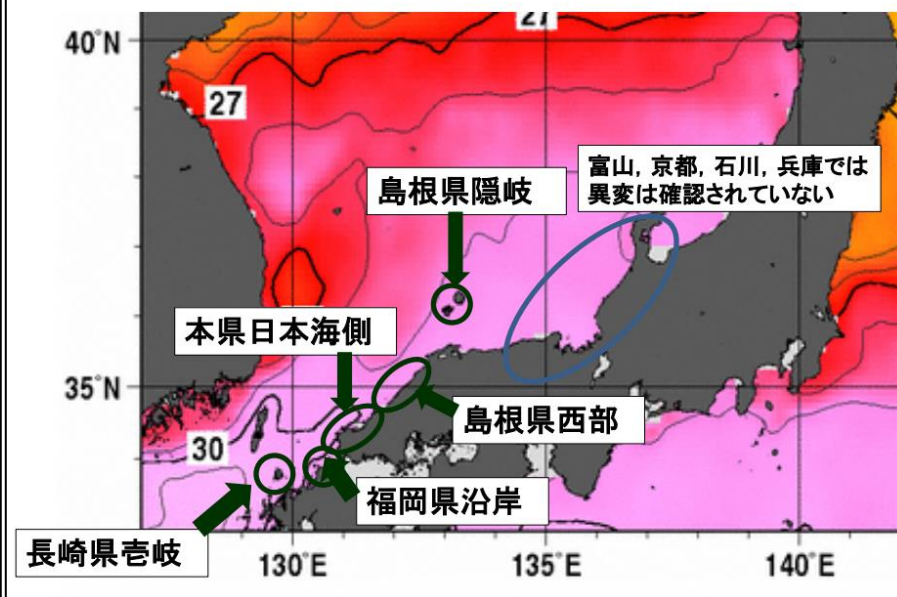
#### 聞き取り情報

- かなり深刻
- やや深刻
- 異常なし

#### 調査 & 聞き取り

- 浜に大量の寄り藻

### 2 異変が見られている地域





## 2 【2014.1.7 8月下旬以降に発生した異変】

(山口県水産研究センター作成資料)

### 資料4 漂着しているアラメ等について



漂着したアラメ



岸辺に漂っているクロメ



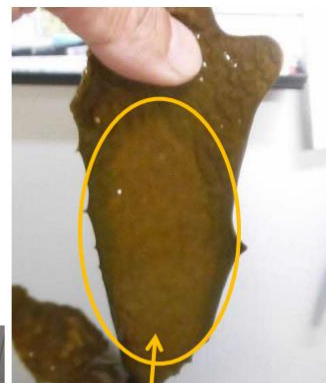
漂着したアラメ



漂流中のクロメ



子囊斑が  
はっきりと浮  
き出ている



子囊斑が形成され  
ていたと思われる  
部分が透けている

遊走子を放出して  
色が薄くなった部  
分と、濃い部分が  
ある。

